



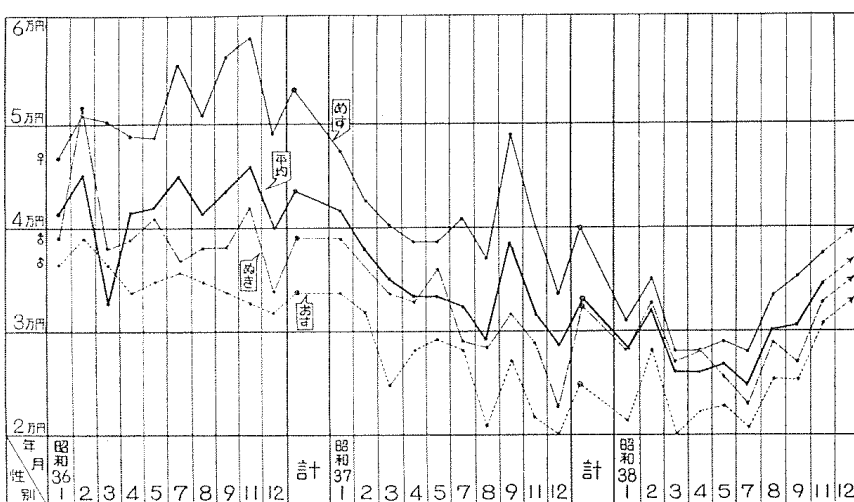
## 低迷を続けた 和牛価格上向く 今こそ基盤整備のとき

和牛は長期見通しからしても、今後和牛を肉畜としてみた場合は、世界的に有利であるばかりか、国際市場に立っても強いと言われている。また他の家畜とはちがって繁殖率も生産頭数も簡単に、鶏、豚の様に増殖することが出来ないことが欠点でもあり長所でもある。

今の子牛の格安は異常相場であり、このままでは、益々消費頭数と生産頭数との較差が大きくなり、この後は、反動的高騰すら予想されるので、今が和牛の生産基盤を整える上に絶好のチャンスであると考え。特に農協融資導入事業、預託、或は農家の素牛の更新

淘汰の絶好の時期であり、指導機関も、指導者も、農家も一丸となって和牛振興に努力する時と考える。

昭和36年以降子牛セリ市成績表



## 肉畜出荷市況

肉畜の振興に伴い肉畜の生産、出荷もいよいよシーズンに向い、農協を通じての共同出荷も順調に伸びている。出荷状況は次表の通り。

月次	区分	岡山食肉市場				大阪食肉市場						
		総畜	経済連	家畜商	その他	計	総畜	経済連	その他	計	豚	畜
4	月分	99	4	76	28	207	91	27	481	599		348
5	〃	143	8	125	16	292	108	45	567	720		442
6	〃	108	5	95	18	226	130	45	640	815		300
7	〃	140	5	148	39	332	145	33	544	722		306
8	〃	150	1	152	61	364	106	40	522	668		365
9	〃	109	2	172	45	329	140	27	677	844		238
10	〃	205	2	215	89	515	102	32	536	670		88
	4月～10月 累計	954	27	984	296	2261	822	249	3,967	5,038		2,087

総畜の出荷も牛においては岡山市場の半数を占める現況となつた。

## 飼料

### 生産経営に合った完全配合飼料を

時代に要求される、経済性の高い子牛をつくるためにお奨めする

### 『和牛子牛完全配合飼料』を利用しましょう

本県産和牛は年間約2万3,000頭が県外に販売されているが、本県の子牛セイ市場に出荷される牛は、

大きさまで、商品的価格が低く、最近の購買客の好みに合っておらず、したがってその価格も他県に比して安価となっている。

このため本会においては、本年度より『和牛子牛規格高揚運動』を展開し、その1つとして飼育管理技術の向上を図るため、母乳不足による発育不良を防ぐため『和牛子牛完全配合飼料』を県関係機関の協力を得て作成しました。

## 岡山畜産便り 1963.11

### 農家の皆様へ

この飼料給与時期は、生後2～3ヵ月の母乳が不足する頃、出来ればそれ以前から給与準備をし、哺乳期中の旺盛な発育力と素晴らしい飼料の利用性を活しチョットの心使いにより和牛子牛の商品的価値が高められます。

和牛の大好物、肥育には  
『肉牛用完全配合飼料』でOK

### 総合畜連の肉牛用完全配合飼料の特色

・麦よりも安く、理想的内容。そして和牛の嗜好がよく肉質がよくなります。

### ・栄養のバランスがよいので、飼料の無駄がなく第1胃内の醗酵消化がよいので肥育末期迄利用出来、飼料効率がよく、経済的です。

成分表 (%)					
粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	可消化粗蛋白質 (DCP)	可消化養分総量 (TDN)
20.5	2.5	5.0	5.0	17.5	72.0

### 肉牛用完全配合飼料の成分

粗脂肪	2.0%
粗蛋白質	12.0%
粗繊維	9.0%
粗灰分	9.0%
可消化粗蛋白質	10.5%
可消化養分総量	73.5%

1袋 20kg 農家渡し価格 650円

## 枝肉共進会始まる 県共 12月20日～22日

地区共進会を合せ 240頭出品

岡山県食肉市場が開設されて2年目を迎え、今年もこの食肉市場を中心として枝肉共進会を開催する。年末の需要期をひかえ今年も11月下旬より翌年2月に亘り地域の共進会、共励会を開催し、県下の優秀な肉畜の出品が期待され、高値を呼びそうである。

出品資格は3才未満のヌキ、又は6才未満のメス牛で生体重430kg(120貫)以上のもので、希望者は本会支所に早目に申込みをするようになっている。

## いよいよ畜連ミートセンター 操業開始、農協を通じて消費拡大

このほど岡山市桑野町の岡山支所内に販売用精肉を処理する『畜連ミートセンター』が完成、操業を開始した。

新設のミートセンターは建て面積235㎡、総タイトル張りの食肉処理場は1日10頭の処理能力を持っており最新の機械設備を誇る総工費1,200万円の近代的施設である。特に貯蔵能力10トンの鉄製冷蔵庫はステンレスドア付きで、入口にはエアカーテンがあ

### 昭和38年度 枝肉共進会開催日程

月日	会名	会場		出品頭数	出品管内	事務局
		第1日	第2日			
11月20～21日	高松町枝肉共進会	高松町農協	岡山県食肉市場	肉牛20	吉備郡・高松町	高松町農協
11月25～26日	第3回総社枝肉共進会	総社畜市場	岡山県食肉市場	20	総社市・吉備郡	総合畜連 総社出張所
12月6～7日	第7回倉敷枝肉共進会	倉敷畜市場	岡山県食肉市場	20	倉敷市・都窪郡	倉敷支所
12月12～13日	第3回瀬戸枝肉共進会	瀬戸畜市場	岡山県食肉市場	30	赤磐郡・和気郡	岡山支所
12月17～18日	第2回岡山枝肉共進会	岡山畜市場	岡山県食肉市場	30	岡山市・御津郡 西大寺市・邑久郡	岡山支所
12月20～22日	第2回岡山県肉畜共進会	岡山畜市場	岡山県食肉市場	12月21日 肉牛45頭 肉豚35頭	岡山県内	岡山県畜産課 総合畜連 岡山支所
12月25～26日	第1回瀬戸枝肉共励会	瀬戸畜市場	岡山県食肉市場	20	赤磐郡・和気郡	岡山支所
39年 1月14～15日	第1回井笠枝肉共励会	井笠畜市場	岡山県食肉市場	30	笠岡市・小田郡 井原市・後月郡	井笠出張所 総合畜連 本会
1月24～25日	第1回岡山県内枝肉共励会	岡山畜市場	岡山県食肉市場	30	全県下	岡山支所
1月31～ 2月1日	第2回岡山県内枝肉共励会	岡山畜市場	岡山県食肉市場	20	全県下	岡山支所
2月10～11日	第3回岡山県内枝肉共励会	岡山畜市場	岡山県食肉市場	20	全県下	岡山支所

り、枝肉保持レール58mを有している。

農業会館地下の処理場でも引続き処理を行っており、県下各地の農協の希望に応じて冷凍車で精肉を配達している。農村の需要が予想外に多く、新鮮な肉として好評なので施設の拡充を図ったものである。価格も市価より一段安く、農協においては農家の庭先まで配達している地区もあり現在1日処理販売量は1.5トンに達している。

11月5日には本会において対象農協の担当者を集め、「食肉販売(取扱)協議研修会」を開き、食肉の農協での取扱いにつき、県環境衛生課片山技師及び

### 岡山畜産便り 1963.11

本会日笠部長を講師とし有意義な研修会を行った。

いよいよわれわれ生産者団体の力によって生産から販売に至る一貫した流通の理想体制が築かれ、また肉畜価格の安定策として一般農家の期待は大きい。それだけにミートセンターを運営する本会の使命も重大であり、広く県下畜産農民の要望に答えることとなった。

